

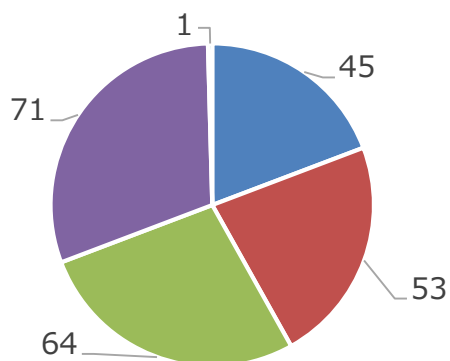
卒業生追跡調査の結果報告(2019年度)

島根大学では、2016年より、卒業生の皆様方を対象に、大学での経験や現在の島根大学等への評価をお伺いするアンケートを始めました。

4年目となる今回は、235名の方から返信をいただき、母校への期待を感じたところです。今回、アンケート調査の結果を報告いたします。

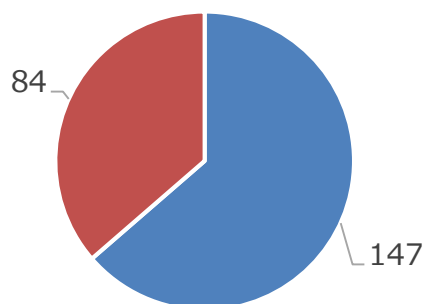
プロフィールと現在の生活・仕事

1. 年齢



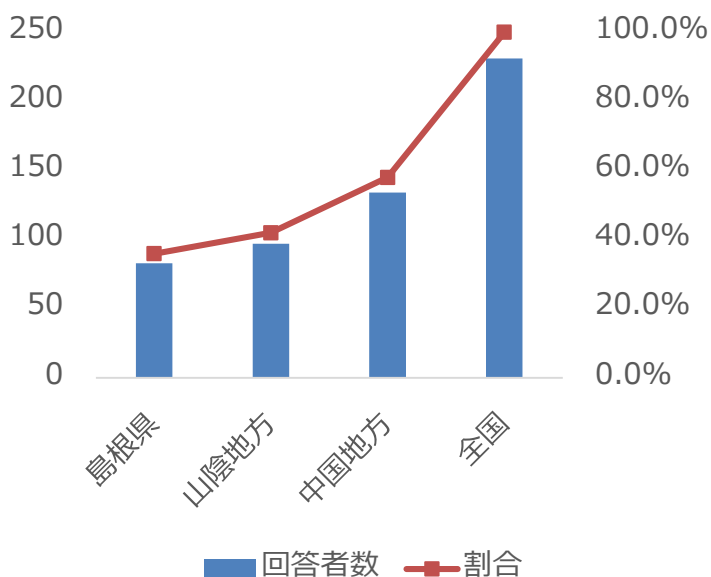
■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳以上

2. 性別



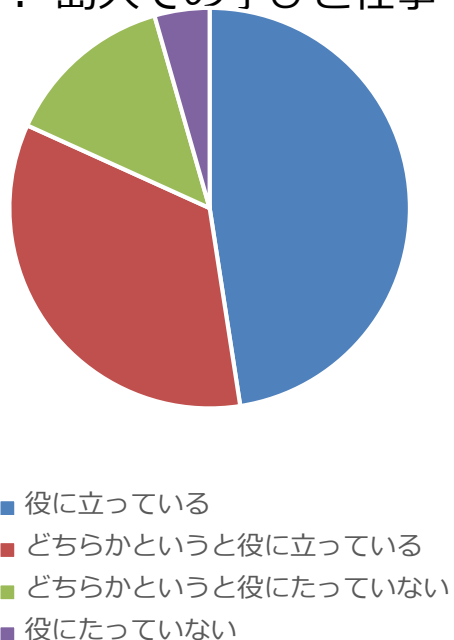
■ 男 ■ 女

3. 現在の居住地



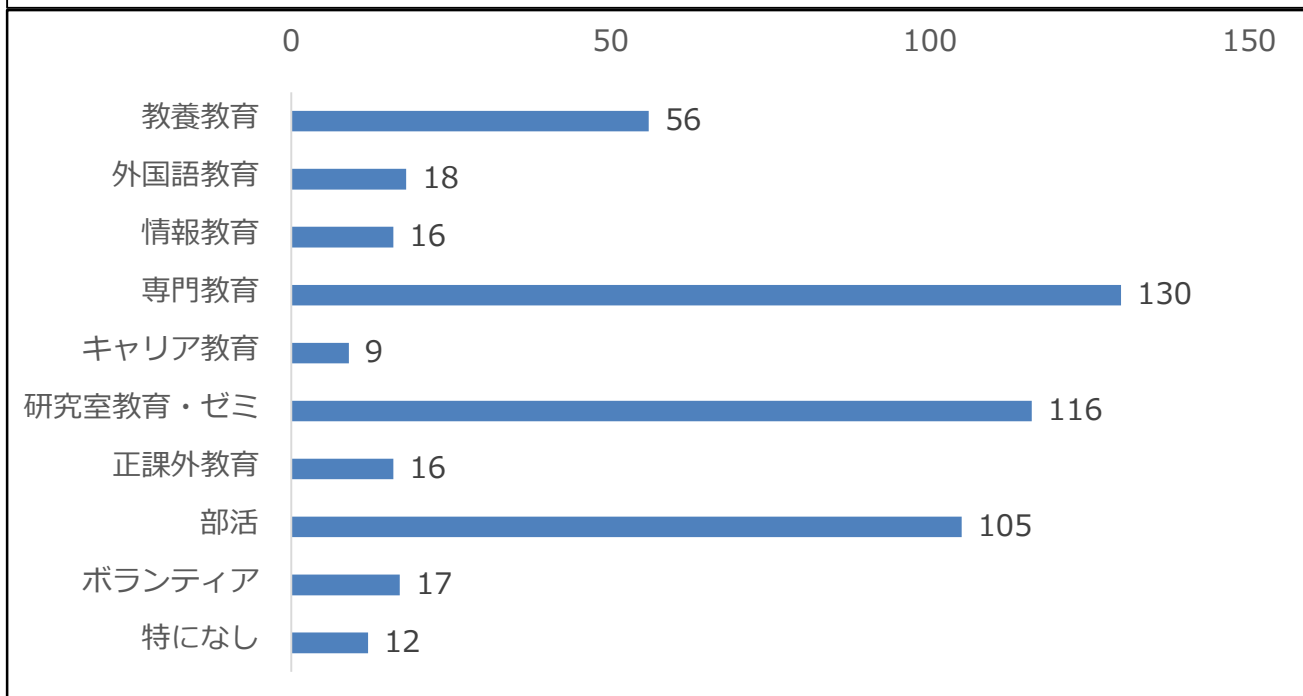
→卒業生は、島根県を基盤にしつつ、全国で活躍しています。

4. 島大での学びと仕事



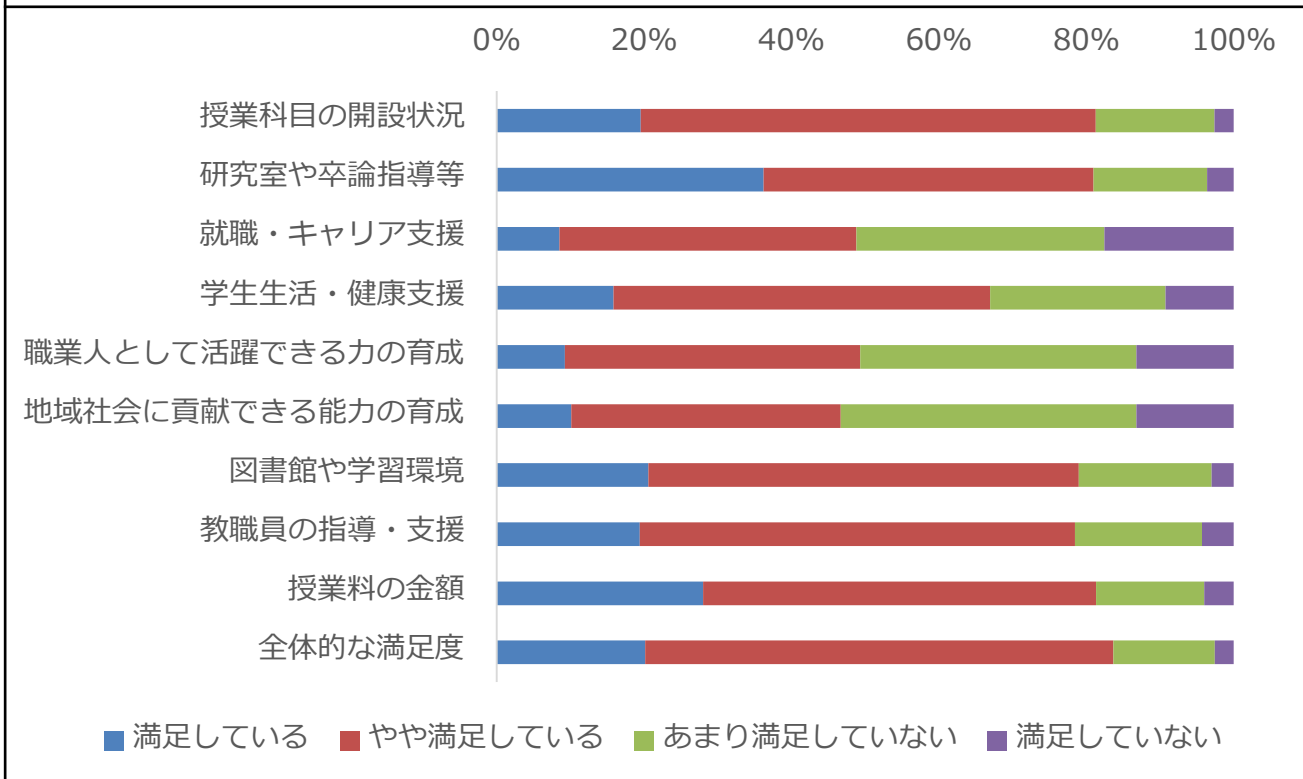
→およそ8割の卒業生は島根大学での学びが仕事に役立っていると認識しています。

5. 有益であると感じた島根大学での学び



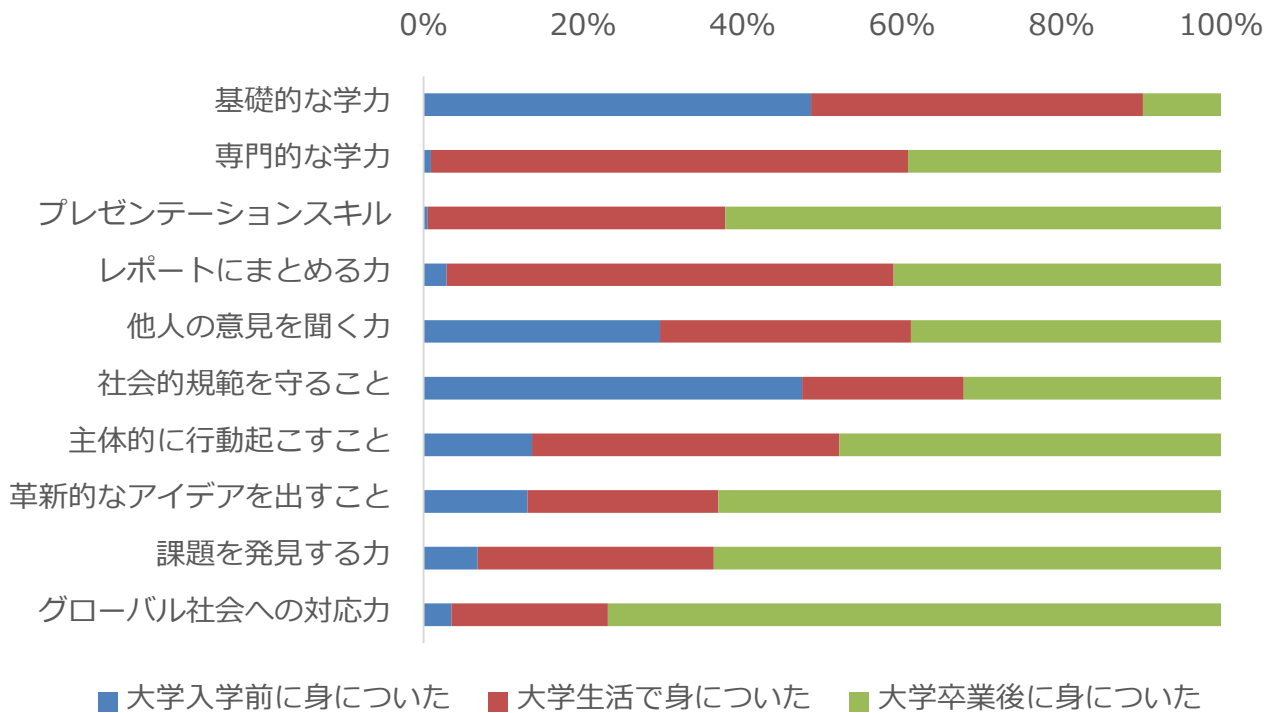
→島根大学の学びについて、正課教育では専門教育や研究室教育が、正課外教育では部活動が有益であったと認識しています。

6. 島根大学在籍時の満足度



→島根大学在籍時の満足度は総じて高いようです。島根大学は、学習の場として高く評価をされているようです。

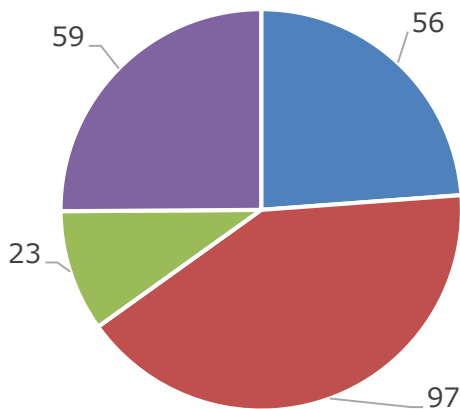
7. 島根大学で身に付けた力



→島根大時代に身に付けた力としては、「専門的な学力」や「レポートにまとめる力」が高く評価されています。

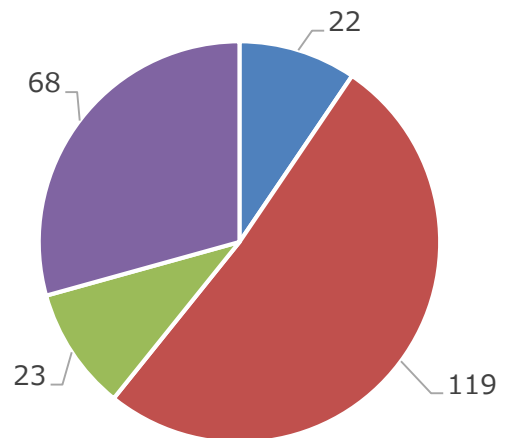
8. 島根大学との交流

教職員・同窓生との交流



- 同級生・教職員と交流がある
- 同窓生とのみ交流がある
- 教職員とのみ交流がある
- 交流はない

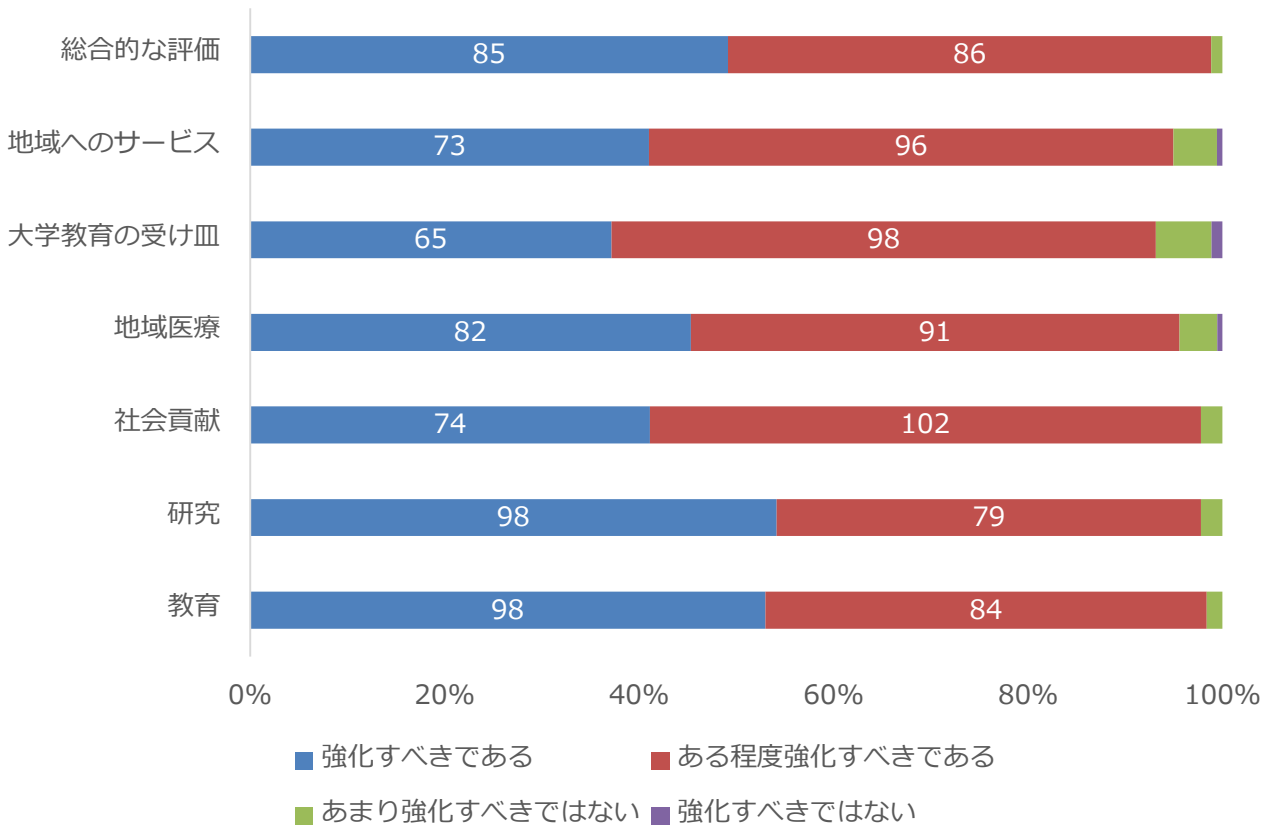
島根大学への訪問



- 個人的に訪問・大学行事での訪問両方
- 個人的に訪問のみ
- 大学行事で訪問のみ
- 訪問の経験は無い

→多くの人が、島根大学時代の人間関係を維持しており、かつ島根大学へ訪問しています。

9. 島根大学に対する期待



→全ての項目において強化すべきとの声をいただきました。教育・研究の拠点だけではなく、地域医療や社会貢献を通して等、様々な形での貢献が期待されています。島根大学への強い期待が感じられます。

10. 評価の低かった項目について

評価の低かった外国語教育、情報教育については、次のような対応を行い改善につなげています。

【外国語教育】

島根大学ビジョンの教育目標4において、「国際感覚とコミュニケーションスキルを育成するグローバル教育を提供する」とし、その戦略として、外国語教育強化を上げ、学長室に外国語教育プロジェクトチームを設置し、現在、外国語教育の改善を目指し、英語教育を中心として、全学共通教育及び専門科目における外国語教育強化に向けたグランドデザインを策定中です。

【情報教育】

文系・理系を問わず全学部の学生に対してデータサイエンスに関するリテラシーの醸成に向けて令和3年度から数理・データサイエンスを全学で必修化しました。データは何を訴えているのかといったデータの見方、データの解析を通して何がわかるのかといった帰納的思考やデータの基本的な解析手法、そして数理的思考が社会に見られる現象の理解と洞察にどのように生かされるのかについて学ぶものです。